## 平成31年度当初予算 予算要求シート

施策番号

マスター

3つの挑戦

事業区分: 新規•拡充 局・課名 : 産業振興局ものづくり支援課 プラン 低炭素 4-1 • 4-2 • 5-3 • 平成29年度決算額 平成30年度予算額 平成31年度要求額 事業名 製品•技術開発支援事業 |事業費(千円) 39.587 36.417 43.695 期間 要求額(千円) 【目的】 債務負担行為 H ~ H 中小企業の核となる優位な製品・技術の開発を支援し、中小 主な要求内容 |企業の製品・技術の高付加価値化や新分野進出の円滑化を (単位:千円) 図ることを目的とする。また、近年深刻な課題となっている人 項目 30年度予算 31年度要求額 内容•積算等 材不足を補うため、IoTやロボットなどの導入により生産性向 IoT導入支援モデル事業委託 0 事業を産業振興センターに移管 600 上を図り、経営基盤を強化することを目的とする。 スマートものづくり導入支援補助金 10.000 補助金 0 ロボット導入枠 2.500千円×3社 【内容】 IoT·AI導入枠 500千円×5社 5,000 委託料等 第二創業促進支援業務委託 4.000 1. スマートものづくり導入支援補助金【新規】 技術融合促進支援業務委託 0 技術開発支援コーディネート事業として再構築 ものづくり企業が生産性を向上させるためにIoTやロボット設備を導入する費 1.664 用の一部を補助する。【ロボット導入枠、IoT・AI導入枠】 技術開発支援コーディネート事業委託 1.000 委託料等 2. 第二創業促進支援業務【拡充】 ものづくり新事業チャレンジ支援補助金 20,000 補助金 33.000 **事業** ものづくり企業における若手経営者等を対象に、起業マインドを掘り起こし、 5,000千円×4社 第二創業や新規事業展開を促進する。また、定期的にベンチャー企業経営 者等によるセミナーを実施し市内における第二創業機運を醸成する。 その他 417 事務経費等 323 概要 3. 技術開発支援コーディネート事業【新規】 合計 39.587 36.417 市内ものづくり企業の研究開発を支援する専任コーディネーターを配置し、大学や スケジュール(経過及び今後展開) 大手企業の知的財産等技術と中小企業技術の融合を促進するなどにより、 【今後予定(32年度~)】 【経過(~30年度)】 新製品・新技術の開発を支援する。 IoT導入支援モデル事業により市内企業に 生産性向上支援に関して、実際の導入に対 4. ものづくり新事業チャレンジ支援補助金 必要な改善を行ったうえで IoT等の導入による生産性向上の必要性等 する補助制度を創設する。また第二創業に |新製品・新技術の開発に取り組む中小企業へ経費の一部を補助する。 実施。 について周知した。また第二創業支援によ ついてもさらに市内での機運醸成を図る。 り、次代を担う経営者の育成とともに企業の 【今年度要求のポイント】 成長支援に着手した。 ものづくり企業は、深刻な人材不足であり、大手企業との生産性格差は拡大 その他 特記事項 を続けている。このような課題の解決を図るため、これまで周知に努めてきた oTの取組について、実際に導入する企業に対する補助制度を創設する。ま た、H30年度からスタートした第二創業支援については、個社支援に加えて機関連事業: 運醸成に向けたセミナー等も実施する。さらに、製品・技術開発支援に特化し 経営サポート事業(堺市産業振興センター事業補助金) た専任コーディネータを配置し、ものづくり企業の経営基盤強化に資する研究 開発支援を実施する。

整理番号 : 15 - 1 - 0040